

1月の研修が終了しました

1月10日(水) 看護研修センター

「わかりやすい文章の書き方とプレゼンテーションの方法」というテーマで、プレミアムセミナーとしてテルモ株式会社 顧問 **松村 啓史** 講師の講義に、115名の参加があった。

プレゼンテーションについて、受講生同士で考えたり、交渉の秘訣とメールやパワーポイントの効果的な使い方を、分かりやすく講師自身の体験談を交えながら講義があった。また、ジャニーズを例にそれぞれの特性をビジネスに結び付ける説明をしてくれた。身近な話題もあり、笑顔の多い研修となった。

参加型の研修であり、発言した受講生には景品が配られ、発言することでこのプレゼンテーションを学ぶという研修のねらいに沿っていた。また、質問が非常に多い研修で、次から次と挙手する人が多かった。

アンケート結果より「自分自身を見つめ直し、振り返る機会になりました」「人として大事なことを学びました」など、前向きな結果が得られた。



(講義の様子)



(発表の様子)

～研修担当者より～

たくさんの方に申し込んでいただき誠にありがとうございました。この研修では、人数制限をさせていただき、申し訳ありませんでした。来年度も計画しましたのでご参加お待ちしております。

1月12日(金) 看護研修センター

エンド・オブ・ライフケアを学ぶ(一般病棟編) というテーマで、公立那賀病院 緩和ケア認定看護師 **米田 宜美** 講師の講義に、86名の参加があった。

一般病棟で看取りを迎える患者に関する施設のデータの説明、急性期と終末期の両方の患者を受け持っている一般病棟だからこそできる看取りのケア方法、家族への対応などの講義があった。講師の体験談と事例を用いながら、倫理的課題や意思決定支援の大切さを学んだ。

エンゼルケアやグリーフケア、家族とのコミュニケーションなどひとつひとつ細かく説明があった。また、外泊中に使えるサービスなどの説明もあり実践に繋がられるような内容であった。

受講者からは、「研修のねらいに沿った学習ができた」「臨床の現場での事が盛り込まれていて分かりやすかった」などのアンケート結果が得られ、有意義な研修であった。



(講義の様子)

1月26日(月) 看護研修センター

接遇およびクレーム対応というテーマで、株式会社メンタル・パワー・サポート 代表 **丸本 敏久** 講師の講義に、93名の参加があった。

参加人数の多さから、普段から対応に困っている人が多いことがわかる。

クレーム対応のポイントとして、クレーム対応の「さしすせそ」をご存知ですか？

料理の基本の「さしすせそ」ではなく、さ→最善をつくす。し→知ったかぶりをしない。す→するな議論！お客様と。せ→誠意を尽くせ！。そ→即刻上司に報告。ということです。

クレーム対応は最初が肝心。講師の長いマクドナルド勤務の経験からいろいろなクレームの事例を通して講義をしてくれた。

また、患者役・看護師役になりロールプレイを行った。そのあと、感想をまとめて職場で活かせることを導き出した。

真剣にロールプレイを行っている中で、自分たちの対応の良かったところ、悪かったところをお互いに再確認できていた。

講義終了後も講師に質問する人で長蛇の列となっていた。講師は研修後、遅い時間まで、質問に答えてくれた。



(講義の様子)



(ロールプレイを楽しそうに行っている)



(発表の様子)